



森六
MORIROKU

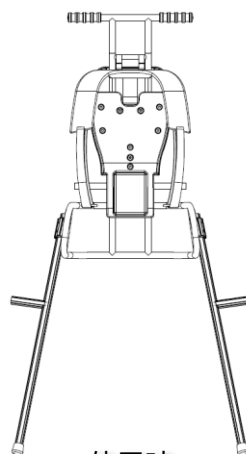
共同開発モデル（非売品）

災害時に大切な人を背負って避難する搬送背負子

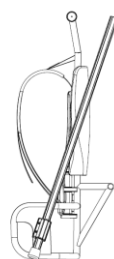
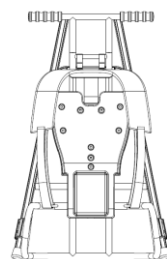
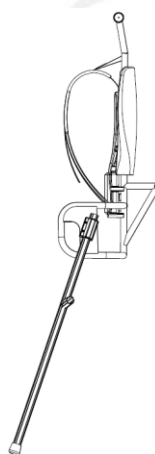
Rescue back ride carrier

Shoyrier - ショイリア - TM

ショイリアは背負子+Carrierを掛け合わせた造語です



使用時

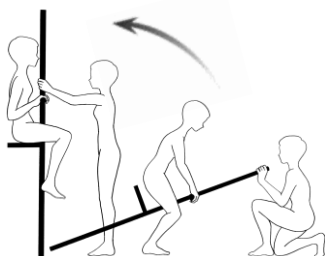


収納時

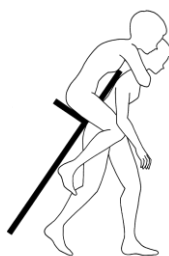
■ 仕様

寸法(使用時)	高さ 約900 幅 約590 奥行 約360 (mm)
寸法(収納時)	高さ 約1,600 幅 約880 奥行 約590 (mm)
材質(表面処理)	フレーム:アルミニウム(アルマイト) ボディ:ABS(塗装)
重量	5.9kg
価格	非売品

■ 特長



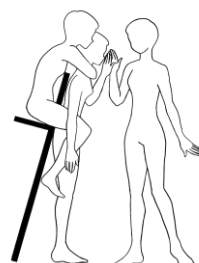
楽に背負える



楽に歩ける



楽に休める



楽に交代できる

■ 研究説明

森六株式会社は、富山大学の河原教授が研究する「災害時に支援を要する避難困難者を円滑かつ迅速に安全な場所へ運ぶ搬送具」に関する内容に触れ、人命救助への思いに共感するとともに、自動車用内外装部品の製造で培ったしなやかで軽量かつ強度を備えた素材に関する技術やノウハウを活用できると考え、2022年より“少ない身体的負担で人を運ぶ背負子”の共同研究をスタートしました。

避難困難者を搬送するには、おんぶする、肩を貸す、リアカーで引いて運ぶなどさまざまな手段がありますが、車輪のついた道具は災害時に使えない場合が多く、体力を要するおんぶで搬送することが少なくありません。

そこで、河原教授アドバイスの下、日本古来の伝統民具である「背負子」の知恵を活かし、理想的な背負いを工業製品で成立するコンセプトで、少ない力で楽に人をおんぶし搬送できる「ショイリア」を開発しました。

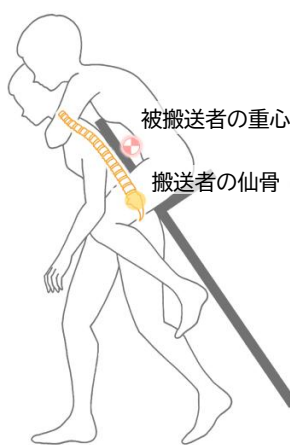
おんぶ搬送の課題

被搬送者、搬送者ともに
腕が疲れてしまう



本研究の目指す姿

被搬送者の重心が
搬送者の仙骨に乗っている状態



モデリング設計



「ショイリア」なら、背負う、降ろす、休む、交代するなどの動作を素速く、安全に行えます。

森六株式会社は、河原教授と共に高齢者用の歩行補助具や車椅子を分解して調査する等、搬送具に関する独自の試験要件を作成するとともに、自動車用部品の設計と共通する荷重解析やモデリングを繰り返すなどの改善を重ねることで、8代目モデルとなる本寄贈品は初期モデル総重量に対し半分以下となる約6kgまで軽量化を実現しました。

森六株式会社は、培った技術を応用し、今後も地域や社会のニーズに還元する社会貢献活動を強化していきます。

■ 静岡県伊豆市NPO法人へ1台寄贈

2024年11月に背負子型搬送具「ショイリア」1台を静岡県伊豆市のNPO法人に寄贈しました。

寄贈先の地域は、発生確率が高まっている南海トラフ地震や津波、豪雨による水害などのリスクが高く、少子高齢化が進んでいることから、緊急時の「万一の備え」として寄贈を決定しました。

